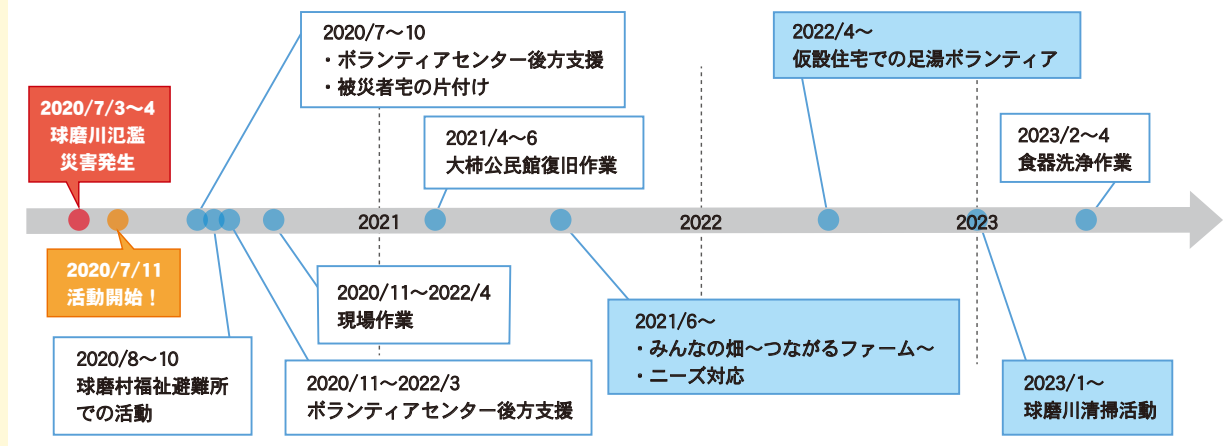


# CDSTおれんじぴーす活動紹介



みなさんこんにちは! CDSTおれんじぴーすです。CDSTとは、地域社会災害サポートチームという意味で、災害支援を通して、被災した地域の方々と繋がり、お話を聴いたり、一緒に作業したりしながら交流を深めることを目的としています。

私たちは、令和2年7月豪雨の復旧・復興支援をきっかけに活動を始めました。メンバーは、玉名市にある九州看護福祉大学の学生と卒業生です。災害直後から現在まで、毎週人吉市に通っています。現在は主に、被災された地域の住民さんとの畑づくり、仮設住宅などでの足湯ボランティアを行っています。足湯は、仮設住宅にお住まいの方々が集まり、楽しく過ごせる場になっています。

これからも、みなさんとのつながりを大切に活動を続けていきたいと思っています。どこかでお会いしたときにはぜひ声をかけてください( ^o^ )



## 仮設住宅移動販売車巡回日程



	イスミ		グリーンコープ	
	曜日	時刻	曜日	時刻
梢山グラウンド仮設			水	13:30
石野公園仮設			水	13:00
村山公園仮設			水	11:15
あやめ広場仮設	水	14:30	水	11:00
西間上第一仮設	火・金 岡医院先、仮設団地手前	13:00	水	12:20
西間上第二仮設	金	13:20	水	12:40
下原田第一仮設	水	14:10	火	14:20
下原田第二仮設	水	14:00	火	14:10

助かるなあ



※掲載している時刻は目安です。巡回時刻は多少前後することがあります。  
※移動販売についてはイスミ本店 (0966-22-4316) グリーンコープ (0966-32-9756) までお問合せください。



# スマイルだより

No.5  
2023.7

被災された方々が生活再建できるよう、「見守り」「生活・健康支援」「地域交流の促進」など総合的な支援を行っています。

編集発行 人吉市地域支え合いセンター  
人吉市西間下町4 1 番地1  
☎ 0966-24-5570

## 東間コミセンでオープンカフェやっています♪

川上球場仮設閉鎖に伴い、令和5年3月から東間コミセンでオープンカフェを開催しています。川上球場仮設で開催していた時から仮設入居者だけでなく、みなしの市営団地にお住まいの方々も参加されており、「市営団地は誰が被災されたか分からないので、気持ちを共有できなかった。同じ気持ちを持った人がいて不安が和らいだ。」「オープンカフェに参加したから同じ団地で話す人が増えた。」等、被災時のこと、その後の大変だった話を気兼ねなく話すことができる貴重な場となっています。

同じ災害公営住宅へ行く人がいて、これから再建先でも話せる人ができた。

相談員や市職員がいるので、分からない事が気軽に聞ける。



昔の知り合いに会う事ができた。

### 東間コミセン地図



みなしの市営団地だけでなく、仮設、みなし仮設にお住まいの方、再建された方、どなたでも参加できます。皆さまのご参加をお待ちしています。

### 東間コミセンオープンカフェ開催日程 開催時間10:00~12:00

7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13(木)	17(木)	14(木)	19(木)	16(木)	14(木)	18(木)	15(木)	14(木)



# 私たち 頑張っています！

## 吉本淳夫様・留美子様

豪雨災害から、もう少しで3年になろうとしています。その節はたくさんの皆様に支えられ助けていただき、ありがたくそして一言では言えない感謝の気持ちでいっぱいでした。また県外からはげましの手紙もいただき、がんばろうという気持ちになりました。

おかげ様で吉本肉店も太平楽も、何とか去年の9月に紺屋町の同じ場所で再開いたしました。人吉の町が元気をとりもどし、どんどん復興していく事を願いながら、スタッフ共々、新たな気持ちで元気でがんばっております。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(担当：中村郁子・高橋由紀子相談員)



吉本留美子様と従業員の方々

## 吉岡弘晴様

午前7時頃、玄関から泥水が入ってきて「あっ」という間に胸まで浸かってしまいました。窓の外を球磨川の濁流がごうごうと流れていきました。

午後3時過ぎ、ようやく外に出ることができ、蓑野町の「ともしび聖書チャペル」の井上温章牧師にSOSの電話を掛けたら直ぐに迎えに来てくださり、教会横の集会場に2週間泊めてくださいました。

その後、西小学校の避難所に2か月お世話になり、東間上町のみなし仮設に2年間、現在、知人の事務所の2階をお借りして住んでいます。

多くの友人知人と行政から物心両面のご支援を頂き、心から感謝致しています。

(担当：正岡光子・中村ちか子相談員)



## 日隠守様・智子様



土屋凜華ちゃん・凧那ちゃん

保育園の休みで3才と1才の孫を預かっていたため、孫を守ろうと無我夢中でした。2階のベランダの所まで水がせまっていたので、ミルク、お湯、オムツ少々の食べ物、身の回りに必要な物を押入れの上にあげ、屋根裏に布団を敷き準備しました。これ以上水がきたらと、死が脳裏をよぎりましたが、孫を死なせてはいけなと必死で守りました。

あれから3年目、健康で元気な姿の孫が居ます。今年の夏は、新しい命が誕生します。平凡でいい。毎日を大切に生きようと、今、災害を教訓に生きています。

(担当：緒方節子・地内久美子相談員)

## 橋本茂様・カニ子様

温泉町で被災し、仮設で1年暮らしました。仮設での暮らしは不便なこともありましたが、被災前からの知人も住んでいましたし、近所の人も良くしてくれました。訪問に来る支え合いセンター相談員さんも市職員の方もみんないい人でした。

再建する土地を弟が探してくれましたので、家を建てる事ができました。元地から離れて慣れない場所で戸惑いもありました。自分の家ですが自分の家でないように感じ、しばらく落ち着きませんでした。息子が電話をしょっちゅうかけてくれたので、とても安心しました。

仮設を退去する前、支え合いセンター相談員さんから「退去しても仮設でのオープンカフェに来て欲しい」

と言われ、行ってみると、とても歓迎されました。他の住民さんに「また来てよかかな〜？」と聞くと皆さんが「ぜひとも来て〜」と言ってくれました。温泉町や仮設に行き、皆さんとお喋りするのを楽しみの1つです。



## 大柿光子様

被災して3年が経ち仮設団地の手狭な生活にも大分慣れてきました。1年前、支え合いセンターの相談員さんから「仮設でラジオ体操のお手伝いをしてほしい」と声をかけられ、朝の体操を引き受けましたが、あまりのり気ではありませんでした。

しかし、毎回はりきって元気に参加される姿や強張った体を動かし「体操すれば気持ちよか〜。」と言われる言葉に、楽しみにしていただいているのだと感じ、少しでも体力づくりのお手伝いができるならと継続し励行しています。週2回ですが、元気で笑顔を拝見できることが何よりうれしく思います。

これから先もお互い支え合いながら皆さんが健康で生活していけたらと願います。私自身もお手伝いさせていただくことでパワーをもらい、自分ができることを頑張っているところです。

(担当：郡祐資相談員から一言)

ラジオ体操を開始した年に定年退職されたといひ、急なお願いにもかかわらず快く引き受けくださいました。今では、住民さんとお話すると「光子さん」とよくお話に出てくるので、皆さん大柿様を頼りにされているのを感じます。



## 赤池幸太様・加奈様・優太様・真斗様

忘れもしない…令和2年7月豪雨より3年の月日が経とうとしています。甚大な被害を受けたのは言うまでもありません。私たち家族も住む家を失いました。ですが、現在は自宅を別の場所に再建し、一歩ずつではありますが、前(未来)へ向かって進んでいます。

復興再建に向け尽力くださいました全ての方々に、この場を借りて感謝申し上げます。

水害は全てのものを奪っていただけではなく、逆に家族に与えてくれたものもあります。それは感謝の気持ちです。家族の絆も以前にもまして強くなった気がします。私たち家族の中で日々大切にしている言葉があります。「ありがとう」の言葉です。感謝の気持ちを忘れず、お互いが支え合いながらこれからの未来に向かって進んでいけたらと思います。



ユメ(メス犬)